

## 白い砂底

水面下の揺らぎに包み込まれたまま  
死は、その胎内に明るく透明な影を宿し  
私の指が挿し入れられ、無作為に行動すると  
泡を閉じ込めたゲル状の滴りが  
水底へと、ゆっくりと落ちてゆくのだ

どこへ向かうのか  
どこで卵を産み落とすのか  
どこから還ってくるのか  
黒い海草の繁る故郷はどこなのだ  
海流が静かによどみ、眠る故郷はどこなのだ

我々もそろそろ  
「哺乳」類という種であることから脱却し  
産み落としとして放置する  
そのような仲間に戻るべきであろう  
再生のサイクルを早めるべきであろう

大気を求め、水面を見上げると  
待ち構えている目が映っている  
鋭い視線が水中へと射抜かれている  
私はそれに捉えられている  
ああ、どこへ向かえばいいのか

乳のにおいがする砂地を  
さっき落ちていったゲル状の滴りが這ってゆく  
私は叫ぶ  
私は昂ぶりを放つ  
白、白、白！

(2005.7.22)